

積極進取

☆ もう師走忙しさ倍増？

異常に暑い時期がいつの間にか暑さも和らぎ、人の口からも『涼しい』と聞こえる気温になりました。それでも平年に比べ気温は高く、12月の今日まで衣替えができないという事態が続いています。とりあえず来週月曜日からは、冬服への完全衣替えとなります。3年生にとっては、夏服を着る機会がもうなくなるんですよ。少し寂しいですが、受験が目の前にあって、感傷に浸る時間はないかもしれません。



ご存じのように、12月の別名「師走」(本来は陰暦の12月)は、師(坊さん)が走り回るほど忙しい月だからそう言われるようになった、という説が有力ですが、中には「先生方が試験、成績付け、年末で忙しくなるから」だと思っている生徒がいるかもしれません。

私個人は、11月に比べかなり時間的余裕ができます。なにせ11月は、6日(誕生日でした)以外の土日は産業教育フェアやら周年事業やらで丸つぶれ、1.6日分の出張(まるまる学校にいない日はそんなに多くないのですが)に、全職員との評価者面談等で、なかなか落ち着いて物事を考える暇がありませんでした。無事11月が終わってよかったなと思います。

☆ 頑張れ受験生！

さて、生徒の皆さんはこれまで幾度となく模擬試験を受けていると思いますが、どの大学にするのか参考にされるのが、合格判定です。これは、A～Eまでの記号で「合格する確率」を数値化しているものです。

判定結果は一般には、

A判定・・・80%以上 (の確率で合格)

同じく、

B判定・・・80～60% (")

C判定・・・60～40% (")

D判定・・・40～20% (")

E判定・・・20%未満 (") となっています。

気がつきましたか？そうです。E判定でもおよそですが、何名かに一人は受かる可能性があり、逆も真なりで、A判定でも何名かに一人は合格できないと言うことを意味しています。A判定が100%の確率で受かるとすると、合格できなかった場合、判定を出した機関の落ち度ととらえられることがあるためです。世の中に絶対はありません。よく耳にするモンペアといわれる方から、

『あんたんとこの予備校がA判定出して100%受かると聞いたから受験させたのに、だめだったじゃない、どうしてくれるの！！！！』なんてことになりかねないんですね。(続く)

絶対合格!



絶対合格!